

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・指定都市名	奈良県	学校名	橿原市立耳成小学校
人権課題	子ども	対象学年・ 取り扱った教科等	全学年 学級活動
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のもつ「権利」についての理解を深める。 ・互いのよさやちがいを認めることの大切さを理解し、自他の人権を尊重し合う態度を培う。 ・身の回りを振り返り、いじめや虐待等の問題を考えることから、自分も人も大切にする生き方を身に付ける。 		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回「人権を確かめ合う日のお話」の時間を設け話を聞く。 ・話を聞いて分かったことや考えたことを各学級で話し合い（聴き合い）、ワークシートにまとめたり発表したりする。 		
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・実感を伴った理解となるよう、ICTを活用して動画や写真等を資料として準備する。 ・教員からの話だけでなく、各学年の取組のプレゼンテーションを行うなど、児童が主体的に取り組めるよう計画した。 ・地域ボランティアの方をゲストティーチャーとして、命を守る取組について話をいただいた。 		
他教科との関連	特別の教科 道徳の内容項目に関連付けたテーマ設定を行う		
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・知識的側面：自由と責任や個性、相互理解、寛容などの概念についての理解が深まった。 ・価値・態度的側面：互いのよさを認め合い、尊重しようとする児童の姿が見られた。 ・技能的側面：相手の話を聴く力が身に付き、自分の思いや願いを相手にわかるように伝えるための力を育むことができた。 		

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	奈良県	学校名	橿原市立耳成小学校
人権課題	高齢者・障害者	対象学年・ 取り扱った教科等	3年 総合的な学習の時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動や当事者との出会いや交流を通して、当事者の思いを知り、共に生きていこうとする態度を培う、何が障壁になっているかを理解する。 ・「共に生きる」という理念に基づいた地域づくりに必要な知識や技能を身に付ける。 		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館を見学し、人にやさしい地域づくりに向けた施設の役割等について話を聞く。（1時間） ・視覚障害者や盲導犬と出会い、体験談や盲導犬の役割について話を聞く。（2時間） ・高齢者から昔のくらしや生活の知恵、願い等を聞き取る。（1時間） ・見学や体験を通じて学んだこと、課題について調べたことをまとめ交流する。（2時間） 		
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを活用して調べ学習や意見交流を行う。 ・聴き合う活動により様々な考えに触れ、自分の考えを深めることができるようにする。 ・学習を通じて、自分たちの学校や地域が障害者や高齢者にとって暮らしやすい環境となっているかを振り返り、自分たちにできることを行動に移していけるようにする。 ・地域の公民館に協力いただき、体験を重視した学習計画を立てた。 		
他教科との 関連	社会「みんなが利用するしせつ」		
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・知識的側面：誰もが暮らしやすい地域づくりを進める上で大切なことや当事者の願いを知ることができた。 ・価値・態度的側面：お互いを大切な存在として認め合い、助け合おうとする心情が高まった。 ・技能的側面：多様な人とより良い関係を築くコミュニケーション力の向上につながった。 		

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

奈良県

学校名

橿原市立耳成小学校

人権課題

同和問題

対象学年・
取り扱った教科等

4年 特別の教科 道徳

目標・人権教育のねらい

- ・人権確立の歴史を知る。
- ・差別をなくす運動や取組について理解し、自分の生活に生かそうとする態度を培う。
- ・西光万吉の生きざまを知り、差別のない社会を創っていくことの大切さに気付く。

実施した内容

- ・西光万吉の生涯や全国水平社運動について話し合う。(1時間)
- ・人権教育学習資料集「人の世に熱あれ 人間に光あれ」を読み合い、水平社宣言に込められた願いを理解し、人間を尊重するとはどういうことかを考え、話し合う。(3時間)
- ・水平社博物館の方の話聞く。(1時間) ※予定

工夫した点

- ・知識・理解に留まることのないよう、互いの考えを聴き合うこと(対話)を大切にし、自分の考えを深められるようにする。
- ・4年生の児童の実態に適した資料を用意する。
- ・厳しい差別の現実にのみ焦点を当ててだけでなく、自分事として問題を捉え、差別をなくすために必要な態度や行動について考えることを学習のねらいとする。
- ・県人権教育研究会に授業案づくりに際して協力いただいた。

他教科との
関連

社会「地域の発展につくした人々」

事業成果

- ・知識的側面：差別に立ち向かった先人の願いや取組について理解を深めた。
- ・価値・態度的側面：身の回りの不合理や矛盾に目を向け、どのように解決したらよいかを考え行動しようとする意欲の高まりにつながった。
- ・技能的側面：想像力を働かせ、相手の立場に立って考え、思いを共感的に受けとめようとする姿が見られた。

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	奈良県	学校名	橿原市立耳成小学校
人権課題	アイヌの人々	対象学年・ 取り扱った教科等	5年 社会 国語
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・先住民族としてのアイヌの人々が自然と共に、自然を生かした生活を送っていたことを理解する。 ・アイヌの伝統文化に触れ、多様なものの見方・感じ方・考え方を肯定的に捉え、尊重し合う態度を身に付ける。 		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科で北海道の自然環境の特色について学習し、その特色を生かしながら人々がどのように生活を送っているか調べ学習を行い、まとめたことを交流する。（2時間） ・「アイヌとキツネ」（なかまとともに掲載資料）を読み、分かったことや考えたことをグループで話し合う。（2時間） 		
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる文化との出会いが豊かなものとなるよう、タブレットの映像や写真を活用する。 ・5年生時での学びを6年生の学習と関連付けることができるように計画する。 ※5年生でアイヌ人々の暮らしや文化について理解する。 → 6年生ではアイヌの伝統文様を生かした作品づくり（図工）に取り組む。 		
他教科との 関連	特別の教科 道徳（伝統と文化の尊重、相互理解）		
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・知識的側面：社会には多様な文化が存在し、それぞれが大切なものであることを理解することができた。 ・価値・態度的側面：本当の豊かさや自然と共に生きるとはどういうことかを、自分の生活をふり返りながら考えようとしている。 ・技能的側面：情報を得るためにICTを活用し、必要な情報を取捨選択し見極めるスキルの向上につながった。 		

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

奈良県

学校名

橿原市立耳成小学校

人権課題

外国人

対象学年・
取り扱った教科等

2年 特別の教科 道徳

目標・人権教育のねらい

- ・いろいろな国の人々や文化に親しむ。
- ・互いの文化を尊重し大切にしようとする態度を育む。

実施した内容

- ・ペルーの文化に触れ、歌や踊りを楽しみ、感想を交流する。（1時間）

工夫した点

- ・歌や踊り等の体験を通じて、文化の多様性を感じられるよう計画した。
- ・出会いを大切にするために、ペルーにルーツのあるゲストティーチャーを招き、児童と交流していただいた。

他教科との
関連

音楽（世界の国の曲や楽器に触れる）

事業成果

- ・知識的側面：文化の違いや共通点に気付くことができた。
- ・価値・態度的側面：いろいろな国の文化への興味・関心が高まった。
- ・技能的側面：互いを大切にして、豊かな関係をつくるためのコミュニケーション力を育むことができた。

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	奈良県	学校名	橿原市立耳成小学校
人権課題	ハンセン病患者等	対象学年・ 取り扱った教科等	6年 特別の教科 道徳
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症について正しく理解する。 ・感染者や感染症患者に対して偏見をもたず、差別しない態度を身に付ける。 		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「心の架け橋」（奈良県教育委員会作成 ハンセン病問題学習教材）を読み合い、活用し、元患者や家族の思いや願いについて考える。（1時間） ・偏見や差別意識、正しく判断することの大切さについて話し合う。（1時間） 		
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・思いや願いに迫ることができるよう、元患者が製作した美術作品や短歌を資料として準備した。 ・新型コロナウイルス感染症に関わっても患者への偏見や差別が生じていることから、自分事として考えられるよう関連付けて学習を組み立てた。 ・ハンセン病問題に取り組む他校の授業を参観し、取組を交流した。 		
他教科との 関連	体育（保健）「感染症について正しく知ろう」		
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・知識的側面：ハンセン病問題の歴史や現状について理解を深めた。 ・価値・態度的側面：人の心の痛みに共感し、偏見や差別は許さないという意識を高めることができた。 ・技能的側面：情報を見極め正しく判断する、情報リテラシーの育成につなげることができた。 		

令和4年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	奈良県	学校名	橿原市立耳成小学校
人権課題	性的指向・性自認	対象学年・ 取り扱った教科等	1年 特別の教科 道徳
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りに性別による固定的な見方がないかを振り返り、互いの考えや個性を尊重し認め合う態度を身に付ける。 		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ランドセルの色について、自分の考えをペアで伝え合う。 ・色からイメージすることを聴き合い、固定的な見方や考え方がないかを話し合う。(1時間) 		
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの絵に自分のランセルの色を塗り、ペアで色について聴き合うことから、学習のめあての意識付けを図った。 ・ペアでの対話から生まれる気付きを大切にしながら学習を進めた。 		
他教科との 関連	図工「からだをうつそう」		
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・知識的側面：自分らしさの大切さに気付くことができた。 ・価値・態度的側面：友だちの「らしさ」を大切にしようとする態度を育むことができた。 ・技能的側面：友だちの言葉に耳を傾け聴くことができた。 		